

■学科・コースの教育目的

生活学科 [入学定員70人]

生活学科は、生活に関する専門の知識と技術を授け、科学的な視点から生活を捉える姿勢を養い、家庭及び社会でより良い生活を提案できる能力をもった人材の育成を目的とする。

食健康コース(栄養士養成課程) (募集人員40人)

食について科学的・実践的に学び、食による健康管理ができ、食文化を継承・創造する力を身につけることを目的とする。

製菓・製パンコース (募集人員30人)

製菓・製パンに関する専門知識と技術を修得し、食品の製造現場で活躍できる能力を身につけることを目的とする。

幼児教育保育学科 [入学定員80人]

幼児教育保育学科は、幼児教育保育に関する専門の知識と技術を授け、時代や社会の要請に応え得る幼稚園教諭、保育士等の人材の育成を目的とする。

運動と表現コース

保育に必要な「造形」「音楽」「運動」について、深く詳しく学ぶことを目的とする。

保育実践コース

園児への適切な声かけや、遊び、小学校との連携、ICT活用などについて、深く詳しく学び、幅広い保育実践力を身に付けることを目的とする。

子ども理解コース

子どもの発達や心理、遊びの中の学びなど、子どもを深く理解し、子どもの発達や心理についてじっくりと学ぶことを目的とする。

ビジネスコミュニケーション学科 [入学定員100人]

ビジネスコミュニケーション学科は、ビジネスに関する専門の知識と技術を授け、社会で即戦力となるビジネス実務能力とホスピタリティマインドをもった人材の育成を目的とする。

総合ビジネスコース

ビジネスマナー・情報処理・ホスピタリティなどに関する科目を、それぞれの適性・興味に応じて学び、幅広い職業分野で活躍できる人材の育成を目的とする。

総合医療事務コース

医療事務・医療秘書に関する幅広い知識とスキルを身につけ、医療関係機関で幅広く活躍できる人材の育成を目的とする。

デジタルライフビジネス学科

[入学定員30人 ※各連係協力量科の内数(生活学科10人、ビジネスコミュニケーション学科20人)]

デジタルライフビジネス学科は、生活とビジネスの基礎及び、データサイエンス分野、デジタル分野、ものづくり分野に関する専門の知識と技術を授け、高度なデジタル社会の中でそれらを活かして活躍できる人材の育成を目的とする。

ものづくりデザインコース

個性や感性を活かしたものづくりの知識やそれらをデジタル空間で活用するためのスキルを学び、高度なデジタル社会の中で、それらを生活やビジネスと結びつけて活躍できる人材の育成を目的とする。

デジタルデザインコース

デジタル分野の情報表現、情報発信にかかわる知識やスキルを学び、高度なデジタル社会の中で、それらを生活やビジネスと結びつけて活躍できる人材の育成を目的とする。